



かみのくに

学校だより 7月
上野小・中学校
文責：校長（黒木）

か しこく み んなと の びゆく 「上 野 つ 子」

1学期が終わります



夏休み

早いもので1学期が終わり、明日から夏休みに入ります。子どもたちへのアンケートによると、小学校、中学校ともに、それぞれの個性を發揮してのびのびと学校生活を楽しむことができた1学期だったようです。わたしたち教職員にとってもこのことが一番嬉しいことです。

さて、子どもたちには4月に「あいさつ、返事、片付け」のできる子どもになりましょう。」と話しました。

まず「あいさつ」は、上野流あいさつ「あかるく、いつでも、さわやかに、つづける」をモットーに取り組んできました。まだまだ十分とは言えない部分もありますが、多くの子どもたちが「おはようございます」「こんにちは」など、大きな声であいさつをしています。あいさつは、人と人をつなぎ、よりよい関係をつくる上での大切な「生きる力」のひとつです。どうぞ夏休み中もご家庭で元気なあいさつをお子様と交わしてください。

もう一つは、「返事」です。「はい」の返事が素直に、相手に向かってキチンと言えるかどうかでその人のことがわかると言われます。様々な場面で子どもたちは頑張っていますが、「はい」の返事がしっかりと言えない場面もあります。

普段、私たちが使っている「はい」は、「わかりました」「承知しました」「その通りです」などの意味があります。これは理解や承諾を意味しての「はい」という返事です。

この「はい」の返事には、これから目指したい質の高い返事があります。それは、下の三つの漢字（はい）を意識した返事です。



《拝》感謝やほめてもらったとき、つつしんで聞くという「拝」を意識して、心から「ありがとうございます」と優しい口調で「はい」と答える。

《配》目配り、気配り、心配りなど注意を払うとき、言われることに充分気配りします」という「配」を意識し「はい」と自分に言い聞かせるように「はい」と言う。

《背》指示や間違いなどを指摘されたとき、私は責任を背負う（果たします）という心を意識し、相手の目を見ながらしっかり力強く「はい（背）」と返事する。

この3つの漢字を意識した「はい」という返事を身に付けた子どもたちを育てていきたいと思います。

そして最後に、「片付け」です。このことは子どもによって大きな差があります。学校でも身の回りの片付けや無言清掃を通して取り組んでいますが、ご家庭の協力なしではなかなか身に付きません。夏休み中のお手伝い等を通して、お子様の身の周りの片付けをご指導いただくと助かります。上手な片付けの基本は、<出したら、なおす>です。ご協力を願いいたします。



この三つを、これからも指導して参ります。どうぞ保護者の皆様のご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。そして、2学期全員で、元気に、始業式を迎えるよう心より願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、1学期大変お世話になりました。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

町PTAバレー大会 バレーボールの部優勝！ ミニバレーの部パート2位！

7月5日（日）に町PTAバレー大会が開催されました。この大会は、保護者と教職員の親睦を深めるものです。昨年度は、ミニバレーの部で3位という結果でしたが、今年は、バレーボールの部で優勝、ミニバレーの部もパート2位という好成績を納めることができました。大会を通して、上野小・中学校の保護者、教職員の輪をさらに深めることができました。参加いただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。また、練習から当日の準備、運営をしていただいた保健体育部長の佐藤正臣さんをはじめ保健体育部の皆様、ありがとうございました。（立派な優勝旗が、玄関に飾ってあります。学校に来られた際はぜひ見てください。）



修学旅行に行ってきました！



USJにて



奈良公園にて



座禅体験

6月30日から7月3日までの3泊4日、中学校2年生が京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。梅雨ということもあり天候が心配されましたが、二日目の京都班別研修以外はよい天気に恵まれました。これも子どもたちの日頃の行いのお陰でしょうか。旅行後の感想を一部紹介します。

- ☆ 戦争は絶対にしてはいけないと改めて思いました。世界中で原爆がなくなればいい。
- ☆ 座禅体験では、足が痛くなつたけど心が落ち着きました。
- ☆ 一番印象に残っている所は「三十三間堂」です。1002体の観音様に圧倒されました。
- ☆ 金閣寺がとてもきれいでした。
- ☆ 外国の方に初めて話しかけました。はじめは緊張したけど、みんなフレンドリーで思ったより楽しかったです。

今回の修学旅行で子どもたちは、ふるさと高千穂町（上野）のパンフレットを作成し、京都駅前でPR活動（配布とアンケート調査）を行いました。知らない土地、そして初めての経験ではじめは戸惑っていましたが、時間が経つにつれて成長する姿を見ることができました。この経験は将来にわたって生きるのではないかと思います。子どもたちは、修学旅行を通してまたひとつ成長したと感じています。

- ☆ 高千穂のアンケートは難しかったです。スルー（無視）されて心が折れそうになつたけど、がんばって話しかけました。

真夜中の地震にびっくり！



13日午前3時ごろ、大分県南部を震源とする地震が発生しました。夜中にびっくりして起きた方も多いのではないでしょうか。そのことを小学校1年生の佐藤 龍希さんが作文に書きました。素晴らしい感性と表現に感動です。ぜひ、読んでみてください。

「ヒーローみたい」

上野小 1年 佐藤 龍希

よなかに、じしんが、がたがたおうちにきました。おかあさんが、やっとねたのに、じしんがじゃましにきました。じしんをおこりたいけど、あぶないからできませんでした。

じしんで、ひきだしがぜんぶあいていました。じしんっていやだなどおもいました。じしんはきらいです。

おとうさんが、へんなポーズをしていました。それは、にげるポーズでした。ぼくがちいさいから、ぼくたちがいきられるようにしていました。

おとうさんは、まもってくれるヒーローみたいです。

